
確認する店員・その後

ミズキシホ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

確認する店員・その後

【Nコード】

N5835C

【作者名】

ミズキシホ

【あらすじ】

よく行くスーパーの店員さんネタ。第二弾。

以前「確認する店員」という文を書いた。

その「確認する店員」のいるスーパーは、
しょっちゅう行く所なので、

<さらに>観察してみた。

一目で分かる、

ネギやら大根やらを、

「ネギですね。」「大根ですね。」
と念押し。

しかし、

「トマトですね。」「ナスですね。」
とは言わない。

なぜだ。

なぜなんだ。

ネギにそっくりな別のシロモノが存在するともいえるのか。

それとも、

「ネギですね。」と念押しされて、

「えっ、ワタシ、ネギを持って来ちゃった？

スミマセンっ！
間違っちゃった、
パイナップルと。」

という事態の発生を防ぐと？

だったら、

「青ナンバンですね。」

は、確実に念押ししたほうがいい。

「オクラ」と勘違いしていたら、昼のメロドラマより不幸になるよ。

「シシトウ」ときたら、「ザ・ピーナッツ」のエミ・ユミばりにパ
ツと見区別がつきにくいよ。

3

キナナル。

というわけで、
さらに日々観察。

その結果、
わたしの立てた仮説。

わたしはその店員さんじゃないので、
詳細はわからないが、

「きちんとバック詰めになってJANコードの登録されているもの」

に関しては、

念押ししないのではないだろうか。

でも、

ネギはネギでしょ？！

ほかの何に見えるってのよ。

たぶん、

「軟白ネギ」を買っても、

『軟白ネギですね。』

とは言わないと思う。

今度試してみよう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5835c/>

確認する店員・その後

2010年11月5日07時17分発行